



亜熱帯 美ッウイノシシ



やんばるに暮らす
生き物たちの素顔

写真と文 久高将和

リュウキュウイノシシ (イノシシ科) *Sus scrofa nikiuanus*

奄美大島や沖縄本島、石垣島、西表島に生息するイノシシでニホンイノシシの亜種。ニホンイノシシが150kgくらいに育つのに対し、リュウキュウイノシシは成獣でせいぜい60kgほどにしかならない。

古い時代から畑を荒らす害獣として扱われた反面、重要なたん白源として重宝されたイノシシではあるが、山地開発による生息域の減少や狩猟による捕獲が原因となり、数を減らす傾向にある。

亥年の本年、リュウキュウイノシシの将来に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

久高 将和 (くだかまさかず)

1951年沖縄県東村生まれ 国頭村在住
写真家・環境カウンセラー

やんばるの自然や生活文化を地元ならではの視点で撮影し紹介する傍ら、「やんばる国頭塾」を主宰し、やんばるの地に育まれた生活文化に学ぶツーリズムの確立を目指し精力的に活動している。